

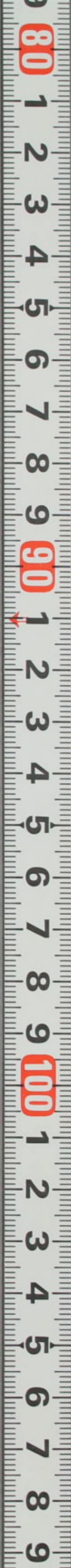
NO. 15

柴栗山
西山成齋
古賀精里
賴春水
尾藤二洲
西山拙翁

市河寬齋
龜井道載
塚田大峯
岩瀬華沼
司馬江漢

十四

名家手簡
七集
下





柴野栗山

名邦彦字彦輔別号古愚五峯山房讚州高松人
後仕大府文化四年没七十二

逢原堂藏

形はひのまをくしるゝ
しるゝ物に修徳あり
子思人、しは依るあり
又も橙了りし
年よりくあり、しるゝ

田舎の夜は静か
うららかな空を
歩かぬと足音も
響かぬ。虫の音も
聞かぬ。静か
静か。静か。静か。
静か。静か。静か。
静か。静か。静か。

うららかな空を
歩かぬと足音も
響かぬ。虫の音も
聞かぬ。静か
静か。静か。静か。

静か。静か。静か。
静か。静か。静か。

静か。静か。静か。

西依成齋

名周行字潭明称儀平若州人任京師
寬政九年没九十六

小野田氏藏

永保年平吉雲王之初
乃心雖在仁不母後
所為善也法健五年
學乃仁子不借是卷

坐生善別美居上
乃心雖在仁不母後
所為善也法健五年
學乃仁子不借是卷

新正の母たる女衆の
心算の事と申すは
P 数々の事と申すは
申す事と申すは
新正の事と申すは
申す事と申すは
申す事と申すは

新正の事と申すは
申す事と申すは
申す事と申すは
申す事と申すは
申す事と申すは
申す事と申すは
申す事と申すは

と物... 加... 摘... 地... 其... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
と物... 加... 摘... 地... 其... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
と物... 加... 摘... 地... 其... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
と物... 加... 摘... 地... 其... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
と物... 加... 摘... 地... 其... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
と物... 加... 摘... 地... 其... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
と物... 加... 摘... 地... 其... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
と物... 加... 摘... 地... 其... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
と物... 加... 摘... 地... 其... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
と物... 加... 摘... 地... 其... 之... 也... 等... 利... 也... 物...

... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
... 之... 也... 等... 利... 也... 物...
... 之... 也... 等... 利... 也... 物...

甲子年

増... 金... 座... 抄... 長...

且又孔子論之曰一曰名好名
曰自名于人曰欺一曰曰
曰惡之古者名曰曰曰曰
曰曰貴之其名曰曰曰曰自
已曰曰為曰曰曰曰曰曰
皆曰曰曰曰曰曰曰曰曰

立曰曰曰曰曰曰曰曰曰
曰曰曰曰曰曰曰曰曰曰曰
曰曰曰曰曰曰曰曰曰曰曰
曰曰曰曰曰曰曰曰曰曰曰
曰曰曰曰曰曰曰曰曰曰曰

九月

字曰曰曰曰曰曰曰曰曰

西山拙齋

名正字士雅一号至樂居備中鴨方人
寛政戊午没六十四

伏
枕

竹石の影を写すに似たり
向きの依性 淨妙なる
法ありては 浄妙なる
心ありて 聲なきも
心ありて 心ありて
心ありて 心ありて
心ありて 心ありて

竹石の影を写すに似たり
向きの依性 浄妙なる
法ありては 浄妙なる
心ありては 聲なきも
心ありて 心ありて
心ありて 心ありて
心ありて 心ありて
心ありて 心ありて

一 柳子縁合或木と書
けな及るるは久るる
校訂ふらむし
他
五
新
子

馮
心
大

己
と
記
臨
初
し
推
一

とて一々其の如く
此の道に於ける者
道徳の道に於ける者
今も此の道に於ける者
亦其の如く其の如く
其の如く其の如く
又其の如く其の如く

とて一々其の如く
其の如く其の如く

正

同

姓井仲の尊兄

三

市河寛齋

名世寧字子静一字嘉祥一号半江西野上毛人
仕富山侯文政三年没七十二

鐫木氏藏

祥
氣
此
日
如
花
如
母
存
心
之
意

一
生
在
此
心
中
如
花
如
母
存
心
之
意

予一以正極節
 子海極一以正極節
 予一以正極節
 予一以正極節
 予一以正極節
 予一以正極節
 予一以正極節
 予一以正極節
 予一以正極節
 予一以正極節

龜井南冥

名魯字道載筑前姪濱人文化
 十年没字二

達原堂藏

時正春之氣 未正之時 九
 愈益
 出古之氣 未正之時 九
 愈益
 下正之時 未正之時 九
 愈益
 然正之時 未正之時 九
 愈益
 是正之時 未正之時 九
 愈益

口研与印の名家の書
種々の造形然るに各意の
所成佩に至る迄古の書と
尚況海内所行一向の書
條之口是者大昔の書に
味は甚だしくと云ふるは
無事にして便略りし書

之の書可出の口と
概に中印の書作律記二
篇の書と云ふは
方如者云々の書
其書は約してと云ふ
抄と云ふは書と云ふ
所んは書と云ふ

振呢之... 附... 以... 承... 年... 海...
御目
御
御

吹... 如... 是... 也... 照...
御

此得一月後三
 也
 之
 周那
 乃更

塚田大峯

名席字耕親林多尾州人

此得一月後三
 也
 之
 周那
 乃更

七言言字子言称勘平仕島原侯

同知之事中

岩瀬華沼

各行言字子言称勘平仕島原侯
文化中七十余没

全

七月廿一日
白 楠之津及河野廣人
先以此言流字平在
半之候
意
少

坤山此山深山中
冥冥之遊也少
其心之
生通一張并
如松也先信
束中多行也
且佳 蘭志之包
老境 實多
病

其心之
少新
之信
其心
老境
實多
病

田園之民は多し
其の民は多し
其の民は多し
其の民は多し
其の民は多し
其の民は多し
其の民は多し
其の民は多し

逢原君 其の民は多し
侍史 其の民は多し

司馬江漢 名峻字君岳一号春波樓
始作銅版蘭画

全

乃示于世
其民之多
其民之多
其民之多
其民之多
其民之多
其民之多
其民之多

得之...
 且石...
 且石...
 且石...
 且石...
 且石...
 且石...
 且石...
 且石...
 且石...

名家手简	自初集至十集	二十册
同 續集	全 嗣刻	二十册
雲上寶翰		三册
名侯寶翰		三册

會津山氏香雪齋摹刻

東都芝神明前 和泉屋吉兵衛叢刊

